

表彰団体・企業の実績詳細

部門	分野	団体名	所在地	設立(活動)の目的・経緯	活動内容、取組の効果
地域	栄養	男のまかないクラブ	高島市	<p>公民館事業の男性の料理教室(平成21年度)に参加した有志が自主的な料理クラブを結成した。料理を通じて育まれた繋がりを大切にしながら、食生活の重要性を認識して、健康に根ざした料理が一人で行えるようになることを目的とした。</p> <p>①会員はほとんど料理経験がないので、当初は料理研究家を招き、料理の基本(食材の選び方、調理器具の使い方、調理の仕方)を実習した。</p> <p>②会員が全ての調理をする事になってから毎年、市の栄養士に協力を得て、模範的減塩メニューでの調理実習、食中毒の予防、調理時の衛生面の注意事項等、健康、栄養に関して学習している。</p>	<p>(活動内容)</p> <p>①月1回、安曇川世代交流センターで男性(平均年齢73歳)が集い、減塩のまかない料理を調理実習している。活動は3班構成にして、担当月になった班が料理実習の運営を担い、レシピの作成、食材の買い出しを行っている。料理の楽しさを学ぶため郷土料理伝承の会との共同調理をした。昨年からは地域の料理愛好家をアドバイザーに迎えた。</p> <p>②地域活動に寄与するため地域イベントに廃材を利用した手作りピザ窯で、間伐材や伐採された竹を燃料とし、オリジナルピザの提供、地元特産のそば粉を使った手打ちそばの実演で参加した。</p> <p>(取組の成果)</p> <p>来る者は拒まずを会の推しとしたことで、会員のネットワークが活発となり、料理を介して地域との関わりが出来たことで料理への意識が深まり「男こそ料理をしよう」との心意気で楽しく和気あいあい活動している。</p>
	運動	あけとみ陸上クラブ	守山市	<p>走る・跳ぶ・投げるをベースに、小学生時に必要な多種多様な動きや現代っ子が劣っている動きを運動遊びにアレンジし、将来を見据えた指導を実践しています。</p> <p>数年前から地域より、守山市には小学生の陸上競技クラブが複数あるが全て遠方なので北西部に陸上クラブを作って欲しいとの要望があり、設立準備が整った2017年11月に、あけとみ陸上クラブを立ち上げました。</p>	<p>毎週土曜日の午前中地域のグラウンドで活動しています。親子で活動している様子を知った地域のスポーツ実行委員会がコロナで中止、廃止となった町民運動会に代わるスポーツ大会を開催したいとのことからクラブの練習内容・取組み活動をアレンジし、10月9日に「美崎スポーツ交流大会2022」を開催したところ、老若男女100名以上が参加し、是非来年以降も開催して欲しいとの声をたくさんいただきました。クラブの活動が地域にスポーツの楽しさ、運動の楽しさを伝えられ地域住民の活性化に繋がったと思います</p>
	介護予防	ふれあいサロン「ひまわりの種」	大津市	<p>地域住民が気軽に参加し交流できる地域の通いの場・居場所づくり</p> <p>設立当初の活動内容は「おしゃべりサロン」のみでしたが、その後、男性にも参加してもらいたいと「作って食べよう」、子どもたちの居場所づくりを目指して「だがしや楽校」、屋外で「野菜作りサロン」など様々な取り組みを行ってきた。そして8年前(2014年)からは、いきいき百歳体操を中心とした「健康づくりサロン」を実施。活動内容は変わっても、地域住民の通いの場・集いの場でありたいとの思いは変わっていない。</p>	<p>*現在は、週1回(毎週金曜日)「百歳体操」をメインに実施。今年度からは新たに、体操終了後に近くの公園にてポールウォーキングを始めた。月1回(第4水曜日)は外部講師を依頼して健康体操や健康に関する勉強会等を実施。広報誌「ひまわりの種だより」を不定期で発行し自治会を通して地域住民に回覧、市民センターに掲示してもらい、地域住民に活動内容の案内および健康についての情報提供をひろく行っている。</p> <p>*参加者(概ね70～80代)の健康意識が高く、普段からウォーキングや体操に取り組まれていて元気に過ごされている。活動日には百歳体操に加えて、家でも続けてほしい健康体操などを紹介・実践しており、それを参考に自分に合った運動を家でも続けている参加者もいる。持病や体の痛みなどを抱える人も多いが、健康づくりに前向きに取り組む人が多く、互いに良い刺激を受けながら楽しく活動に参加されていると感じる。「今日の自分を維持するために、運動を続けていきましょう」と参加者に伝えている。参加者からは「皆と一緒にやるから頑張れる」「ここに来るのが楽しみ」「地域に知り合いが増えて嬉しい」等の声を聞いており、地域住民の交流の場となっている。</p> <p>*コロナ禍にあっても運動・交流などの健康づくりは不可欠だと考え、緊急事態宣言発出時を除き、対策を取りながら活動を継続してきた。</p>

部門	分野	企業・事業者名	所在地	設立(活動)の目的・経緯	活動内容、取組の効果
企業・事業者	がん患者等の治療と仕事の両立	日化工業株式会社	湖南市	会社は社員のために存在し、会社の存在目的は社員の幸福の達成と増進。いくつになっても安心して働ける環境が必要と感じ、両立支援の様々な取り組みを実施した。	①事業主による両立支援宣言・就業規則について説明 ②健康診断受診後に医師による意見聴取の実施。 ③保健師による健康指導を実施。 ④社内研修 専門職による研修・喫煙のリスク・メンタルヘルス・SDGs ⑤福利厚生充実 がん検診・人間ドックの一部費用負担/運動補助器具の配布 ⑥病気と診断された社員の医療機関との連携 「勤務状況提供書」を通じて医療機関と連携 ⑦ワークライフバランス(失効有給積立)制度 私傷病での使用 ⑧ハイリスク者で治療を継続しない社員には医療費を会社が負担
	健康づくり	ワコール流通株式会社	守山市	社員の健康・生産性・エンゲージメントの向上を実現し、経営戦略の土台となる「Well-beingの実現」を目指します。 「社員の健康は持続的成長のための重要な資産」と位置づけており、健康経営を戦略的に推進。	①オリジナル体操の実施 社員の健康増進の一環として、オリジナル体操「ワコールGENKI体操」を制作し、毎日全員で行っている。職場への定着を目指し、社内イントラを使用し、継続的に周知活動を行っている。腰痛症状の緩和に効果が表れている。 ②階段利用、適正歩幅の啓発 事業所内の階段部分に健康啓発メッセージ、消費カロリーシールを張り付け、階段利用を推奨している。また、床に歩幅シールを貼り、正しい歩幅の習得を促している。 ③ヘルスアップスペース 野菜摂取量や血管年齢の測定、体組成計など、体の状態を知り行動変容への動機付けを促すスペースを設けた。 ④ウォーキングイベントの実施 年2回、チーム対抗で歩数を競うウォーキングイベント実施している。表彰制度を設け、上位チーム等にはインセンティブを付与。毎回、高い参加率。(2022年5月開催時の参加率:70%) ⑤婦人科検診 社員の約9割が女性。就業時間中に婦人科検診を受診できるよう配慮しており、高い受診率につながっている。
	健康づくり	第一工業製薬株式会社 滋賀工場	東近江市	2017年9月28日に、トップ自ら、健康宣言『第一工業製薬は、従業員を会社の財産と考え、従業員の健康の維持向上に努めます。』を社内外に発表したのを皮切りに、本格的に健康経営の取り組みを開始しました。従業員の健康の維持・増進することで会社の生産性向上を、ひいては企業価値の向上を目指し、さまざまな取り組みを行っています。	第一工業製薬は、中期経営計画「FELIZ 115」の中で「従業員の幸福度向上」を目標のひとつに掲げ、その実現に不可欠である従業員の健康の維持・向上に力を入れています。組織横断的な「健康経営推進委員会」を新たに改組して、プレゼンティーイズム、アブセンティーイズム、ワークエンゲージメントの3項目について具体的な目標を設定し、さまざまな取り組みを推進しています。 運動習慣の定着を目指し、2019年度からグループ企業を含む全社を対象にウォーキングアプリを利用したイベントを年2回実施。個人、グループそれぞれの歩数をランキングすることで意識が高まり、参加率は50%を超えるイベントに発展。運動習慣率は4年間で6ポイント上昇し、参加者の7割以上が継続意思を示しています。課題であった腹囲超過者の割合が減少しただけでなく、睡眠の質などにも効果が表れていることから、着実な成果につながっています
	健康づくり	社会福祉法人 青い鳥会	彦根市	1.10か月にわたる計画的な全面禁煙実現(産業医と連携) 2.新型コロナウイルス感染症対策(入所者と家族のWEBや写真による面会) 3.彦根市「ひこね元気計画21」に登録(健康増進と食育推進) 4.内科医来園による職員対象インフルエンザ予防接種の実施 5.病気の補償制度並びに医療相談窓口の案内(業務災害総合保険)	1.H24.8月から産業医による喫煙者への講習を重ね、開始時期は選択肢の中から喫煙者の意見を尊重して決定。 3.とっさの一歩が出せるための転倒・腰痛予防対策として、就業前のラジオ体操と「これだけ体操」の実施。 保健師との面談時間を就業時間内に確保・提供。要医療者には、産業医面談の紹介状で初診から治療へダイレクトに繋げる。治療を開始する職員には、年休ではない積立休制度を利用、長期治療をサポート。 4.就業時間内の医師来園により職員接種率100%、同時に家族の予約も受け付けています。 5.R2.5月職員の入院・通院を補償する保険を法人が加入開始。個人の生命保険料負担を軽減、専門医による医療相談窓口利用もできます。 (効果・成果) 1.彦根市「ひこね元気計画21」に登録、学園祭にはひこね元気計画ポスターを掲示、来園者から好評を頂いている 2.入所者とご家族がいつでも会える機会の提供ができた。 3.個人予約が不要、就業時間内接種のため職員接種率100%。法人から接種費用1/3の補助制度あり。 4.個人加入の生命保険料やプランの見直しの良い機会になり、家計の負担が軽くなった。利用実績3名。